

3/24

## きむたか保育所落成式

勝連第3保育所は、昭和52年7月に設置されて以来、約30年ぶりに全面改築され、園児・保護者をはじめ多くの関係者が集まり落成式を行いました。

名称も公募により「うるま市立きむたか保育所」に決まり、これから新たな歴史を刻むこととなります。



園児らの太鼓演技も披露

3/25

## 具志川ジュニアオーケストラ

市民芸術劇場付属の具志川ジュニアオーケストラ



地域のオーケストラとして親しまれ、現在、4歳児から高校3年生まで約60人の団員で構成される具志川

川ジュニアオーケストラの第5回定期演奏会が開催されました。

会場となった市民芸術劇場には、たくさんの市民が訪れ、ベートーヴェンの第7番を中心としたプログラムを堪能しました。

3/12

## 田植え体験学習

泥だらけになりました



市立具志川小学校(久高将弘学校長)では、総合的な学習の時間の一環として4、5年生を対象に田植え体験学習を実施しました。3年前から技術指導に携わってきた、字具志川の照屋守和さんは、「前回の収穫祭には、取れたてのお米をご馳走になりました。子ども達の喜ぶ顔を見るのが楽しみです」と4カ月後の稲刈りを楽しみにしているようでした。田植えに参加した5年生の神田拓海さんは、「ぬかるみに足を取られて疲れたけど、とても楽しかったです」と日頃体験できない学習に笑顔で感想を述べていました。

3/18

## 地元の川を大切にしよう

自然の大切さや環境問題を考えるきっかけを作ろうと天願川沿いで大規模な草刈りやごみ拾いを行う「天願川デー」が今年も開催されました。地域住民や企業などが参加してトラック20台分の草木と4台分のごみを集めました。

また、石川川でも、ボランティア清掃作業が行われました。河川沿いには、川辺を市民の憩いの場にしようとして梅や桜の木が植樹されており、「石川梅の会」と「NPO いひちやー川を蘇生させる会」による定期的な草刈りや散水が行われています。



▲ 一生懸命に草刈をする地域の野球少年たち



▲ 環境について考える一日となりました

モズクのつかみ取りではしゃぐ子どもたち



▲ モズク料理コンテスト



▲ モズク早食い競争

4/15

## 4月第3日曜日は「モズクの日」

第5回「モズクの日」のイベントが、平敷屋漁港内で開催され、モズクのPRを行いました。生産者を代表して、後當繁幸さんが「モズクの日」宣言を行い、主催者を代表して勝連漁協の赤嶺博之組合長が挨拶、その後、知念恒男市長が「このイベントを通して県内外へPRし、モズク産業の振興発展に頑張ってください。」と激励しました。

イベントでは、市内の保育園児らによるダンスやモズク料理アイデアコンテスト、モズクのつかみ取り、漁場見学、モズク早食い競争など「モズクの日」にふさわしい多彩なイベントが行われ多くの来場者で賑わいました。